

INSTITUTE OF SOCIOLOGICAL RESEARCH DAITO BUNKA UNIVERSITY
大東文化大学社会学研究所所報

No.2 2021年3月

目次

所長巻頭言 所長 中野 紀和	1
2020年度社会学研究所活動報告	2
マンガ・ビジュアル研究会 活動報告	3
研究員の活動報告	4
研究所寄贈本	11
研究員紹介	12

混乱と試行の2年目を終えて

社会学研究所所長 中野紀和

所報所報 No.1 では「2020年は、いよいよ東京オリンピック・パラリンピックの年である」と書いたことを覚えている。それから1年が経った今、誰も予想もしなかった「日常」のなかにいる。そもそも「日常」自体を問い直す事態となっている。2020年の年明けからじわじわと新型コロナウイルスの感染拡大が起きたことにより、授業の開始は大幅に遅れ、その間、誰もが慣れないオンライン授業の準備に悪戦苦闘した。例年なら新学期と同時に始まる社会学研究所の活動もすぐにとりかかることができず、計画自体を仕切り直すことになった。それでも10月にオンライン座談会を開催することができたのは、研究員の皆様のご協力のおかげである。

座談会では、2020年度にもっとも話題となった漫画、『鬼滅の刃』をテーマに取り上げるにあたって、登壇者の選定から準備まで井島由佳先生をはじめマンガ・ビジュアル研究会の方々にご尽力いただいた。快く引き受けてくださった登壇者の3人は『鬼滅の刃』にちなんだコスプレ姿で参加された。コロナ禍にもかかわらず、このような趣向を凝らし、大阪と熊本といった遠方からの参加が可能となったのはオンラインならではのあった。急場の対応ではあったが、今後の社会学研究所の活動に選択肢が一つ増えたということで、災い転じて福となす、としたい。

座談会当日はウェビナーを使用した。授業や会議で zoom に慣れつつあったとはいえ、zoom とは勝手が違い戸惑いもした。研究員の方々と学部事務室の方々が設定準備から当日の操作までを支えてくれたおかげでなんとか乗り切ることができた。あらためて感謝申し上げたい。

この状況はまだまだ先が見えず、2021年度の研究所の活動も試行錯誤しながらスロースタートとならざるを得ないだろう。人の動きが制限されるなかでのリモート活用は、ひとまず（画面越しではあるが）顔を見ながらのやりとりを可能にする。一方で、その場の温度や空気、微妙な気配を感じることはできず、少しずつ何かが綻び、リモートの限界もみえ始めている。物事のすべてがリモートで完結できるわけでない。社会学は人の動き、人が創りだすものや現象に敏感であるが、この状況を分析した大きな成果はこれからであろう。長引くコロナ禍で、社会的弱者やこれまで見えないもの、見ないものとしてきたことが顕在化しつつある。それは日本だけではなく世界的な兆候でもある。足元の日々の暮らしに及ぶ影響も含めてこの変化をどう捉えるか、今後の研究所の活動のなかで考えたい。

2020年度 社会学研究所活動報告

運営委員会

- 2020年 6月4日 第1回運営委員会 (zoom 開催)
7月16日 第2回運営委員会 (zoom 開催)
11月5日 第3回運営委員会 (メール開催)
2021年 3月4日 第4回運営委員会 (メール開催)

座談会

10月8日 オンライン (webinar) 開催

テーマ：『鬼滅の刃』で読み解く現代日本

ー描かれる社会と登場人物の分析から教育への応用までー

登壇者：家島明彦氏

(大阪大学キャリアセンター・准教授／生涯発達心理学・キャリア
教育学・マンガ心理学)

井島ワッシュバーン・パトリック氏

(翻訳家・熊本学園大学非常勤講師／民俗学、マンガ研究)

井島由佳氏

(大東文化大学社会学部助教／教育心理学・キャリア心理学・
マンガ心理学)

研究部会

- 2020年 6月11日 第1回研究部会
11月12日 第2回研究部会
2021年 3月12日 第3回研究部会

2020年（1月―12月）のマンガ・ビジュアル研究会 活動報告

<研究会>

・2020年1月21日（火）11：00―12：30

1. 調査費申請の件
2. 野嶋剛 研究レビュー

・2021年1月15日（金）オンライン 10：30―12：00

1. 活動内容確認
2. 近藤和都 研究レビュー
3. 次年度の活動について（「鬼滅学」の検討、セミナー実施について）

<メールミーティング>

・2020年6月6日-20日 社会学研究所シンポジウム座談会登壇者推薦と決定について

<その他>

・2020年10月8日 社会学研究所シンポジウム

『『鬼滅の刃』で読み解く現代日本―描かれる社会と登場人物の分析から教育への応用まで―』大東文化大学社会学研究所座談会参加（オンライン）

■マンガ・ビジュアル研究会メンバー（敬称略）

馬場靖雄、スチュワート・ロナルド・ジェフリー、野嶋剛、近藤和都、井島由佳

研究員の活動報告

阿部 英之助

【論文】

阿部英之助「農業高校のビジネス人材育成の現状と課題」『農業と経済』Vol.86, pp.75-84, 2020年11月

【その他】

阿部英之助「コロナ禍の大学と学生達」全国農業教育研究会『会報』No.279, pp.4-5, 2020年5・6月号

【調査報告書】

「令和元年度 藤島ふれあいセンター隣接普通財産新利活用策調査・検討業務報告書」（山形県鶴岡市） pp.1-30, 2020年3月
「令和元年度 首都圏農業・農村マッチング事業報告書」（山形県鶴岡市） p1-52, 2020年3月
「令和元年度 長沼・八栄島地区地域公共交通導入に向けた調査業務報告書」（山形県鶴岡市） pp.1-38, 2020年3月

【メディア掲載】

阿部英之助 ゼミ活動報告「すいおうの PR 案発表」山形新聞, 2020年2月21日掲載
阿部英之助 ゼミ活動報告「藤島の魅力を再発見」荘内日報, 2020年2月21日掲載
阿部英之助 コメント掲載「2ルートでデマンドタクシー運行」荘内日報, 2020年6月14日掲載
阿部英之助 コメント掲載「デマンド型タクシー提案」山形新聞, 2020年6月16日掲載

【活動報告】

藤島歴史公園「Hisu 花」活用ワークショップ ファシリテーター（7月30日、9月11日・オンライン参加）（山形県鶴岡市）
長沼・八栄島地区地域公共交通検討委員会・検討委員（7月21日、8月27日、11月13日・オンライン参加）（山形県鶴岡市）
第4回鶴岡市市政報告会「鶴岡での調査活動と1年間の歩み」（2020年2月7日）
チャレンジ・オープンガバナンス！！2019「デマンド型タクシーと空き店舗を活用した高齢者に優しい公共交通」（2020年3月8日・オンライン報告）大東文化大学社会学部阿部ゼミ 地域公共交通チーム
「長沼・八栄島地区地域公共交通に関する報告」（山形県鶴岡市）（2020年6月12日・オンライン報告）

「高校普通科での学びに関するアンケート調査結果報告」(2020年10月16日、長野県
松本美須々丘高校) 共同報告者: 太田政男、福井庸子、児美川孝一郎、原健司、林萬太郎、
降旗信一

【講演】

明星大学人文学部 FD 研修会 講師 (2020年2月15日,明星大学)

井島 由佳

【論文】

「大学生のマンガを読む行動とマンガから影響を受けたことの一考察」『大東文化大学社会学
研究所紀要』1巻, pp.47-58, 2020.

【著書】

井島由佳 『『鬼滅の刃』流強い自分の作り方』アスコム, 2020.

【学会発表】

井島由佳 『『鬼滅の刃』社会現象化を心理学的視点で捉えるー「鬼滅の刃」から学ぶレジリエ
ンスー』日本ヒューマンリレーション研究学会第1回大会発表 (佐久大学) 2020年11月8日

【その他】

<WEB 記事寄稿>

井島由佳 「心に響きまくる『鬼滅の刃』心理学から見る凄み」東洋経済オンライン,
<https://toyokeizai.net/articles/-/346512> 2020年5月9日

井島由佳 「社会現象を起こす『鬼滅の刃』の魅力を徹底解説! 「コロナ禍にこそ、働く女性に
読んでほしい」とキャリア心理学者が推す理由」ウーマンタイプ, [https://woman-
type.jp/wt/feature/17559/](https://woman-type.jp/wt/feature/17559/) 2020年5月15日

井島由佳 「炭治郎はなぜ強くなれた? 『鬼滅の刃』に学ぶ折れない心の作り方」マイナビニュー
ース, <https://news.mynavi.jp/article/20200521-1038088/> 2020年5月21日掲載

井島由佳 「『鬼滅の刃』に学ぶ、仕事で成果を出す人の2つの習慣」マイナビニュース,
<https://news.mynavi.jp/article/20200522-1038144/> 2020年5月22日掲載

井島由佳 「理不尽に負けない「強い心」を育てるには? 『鬼滅の刃』に学ぶ、女性が幸せに働
き続けるための知恵」ウーマンタイプ, <https://woman-type.jp/wt/feature/17732/> 2020年5
月27日掲載

井島由佳 「『鬼滅の刃』流強い自分の作り方ー鬼滅の刃が教えてくれるメンタルタフネス
とセルフエフィカシー GLOBIS 知見録, <https://globis.jp/article/7655> 2020年6月19日掲載

井島由佳 インタビュー記事「【鬼滅の刃から学ぶ】離婚後に負けない心を培うための秘訣とは」離婚弁護士ナビ,<https://nicon-pro.com/magazine/102/> 2020年9月30日掲載

井島由佳 インタビュー記事「鬼滅の刃に教わる婚活の極意」Misyu,
<https://misyu.jp/marriage/12155/> 2020年10月7日掲載

井島由佳 インタビュー記事「交通事故で生活が一変…【鬼滅の刃】から学ぶ逆境の乗り越え方」交通事故弁護士ナビ,<https://jico-pro.com/magazine/120/> 2020年10月29日掲載

井島由佳 インタビュー記事「浪費で作った借金のせいで生活が大変…【鬼滅の刃】から学ぶ借金返済の極意」債務整理ナビ,<https://saimuseiri-pro.com/magazine/26/> 2020年10月30日掲載

井島由佳「自己肯定感がマシマンになる『鬼滅の刃』の名言7つー心理カウンセラーが厳選&解説ー」PRESIDENT Online,<https://president.jp/articles/-/40084> 2020年11月7日掲載

井島由佳「『鬼滅』の鬼は日常のストレス源を象徴」～心理カウンセラーが分析、大人がハマる意外な理由～,PRESIDENT Online,<https://president.jp/articles/-/40327> 2020年11月17日掲載

<雑誌>

「折れない心を形成するーレジリエンスを高めるあり方ー」『試験と研修』,55号,pp.25-33,2020.
『鬼滅の刃』を、私はこう読む 現代人が求めている生き方の教科書『週刊金曜日』,2020年12月25日(1310)号,p.22,2020.

<講演等>

井島由佳「『鬼滅の刃』から学ぶレジリエンス 大ヒットマンガ『鬼滅の刃』は、なぜ子どもたちの心を奮い立たせるのか!」全国経営者セミナー第140回(日本経営合理化協会) 2020年9月16日

井島由佳「『鬼滅の刃』で読み解く現代日本ー描かれる社会と登場人物の分析から教育への応用までー」大東文化大学社会学研究所シンポジウム座談会登壇 2020年10月8日

井島由佳「コロナ禍で考えたい、家族の絆と逆境に立ち向かう力『鬼滅の刃』流強い自分のつくり方」えらべる倶楽部セミナー(JTB ベネフィット) 2020年12月2日

井島由佳「大ヒット『鬼滅の刃』に見る日本の漫画・アニメの底力」オンライン・プレス・ブリーフィング(フォーリン・プレスセンター) 2020年12月10日

<テレビ・ラジオ>

井島由佳 「めぐみのラジオ」(KBC ラジオ) 2020年5月16日

井島由佳 STEP ONE「SAWASEIYAKU SOUND CLINIC」「ビジネススキル・デパートメント」7月マンスリーコンサルタント(J-wave) 2020年7月

井島由佳 「内山絵里加のふくわうち」(SBS ラジオ)「ザ・ちっとらっつ!」 2020年8月6日

井島由佳 「Society5.0 香格里拉」(文化放送) 2020年9月6日

井島由佳 「めいたいワイド」(福岡放送) インタビュー出演 2020年10月19日

井島由佳 「グッとラック」(TBS) コメント出演 2020年10月23日

井島由佳 「アサデス。」(九州朝日放送) 2020年10月24日
井島由佳 「マイあさ」(NHK ラジオ) 2020年12月15日
井島由佳 2020年度大東文化大学課外特別セミナー(心理学検定)実施 9月25日～12月1
(7/8回)

香川 めい

【日本語雑誌論文】

香川めい「就職情報誌から就職情報サイトへの移行がもたらさなかったもの—大卒者の就職・採用活動における役割をめぐって」『日本労働研究雑誌』No.714, pp.111-121, 2020

【和書・分担執筆】

香川めい「思春期の子どもに保護者は何ができるのか—学業成績への影響を手がかりに」東京大学社会科学研究所・ベネッセ教育総合研究所編『子どもの学びと成長を追う—2万組の親子パネル調査から』勁草書房, pp185-205, 2020.

上地 宏一

【日本語論文】

上地宏一「実習補助者のいないクラス形態向けプログラミング教育支援システムの構想」『大東文化大学社会学研究所紀要』第1巻, pp.73-78, 2020.

近藤 和都

【単著】

近藤和都『映画館と観客のメディア論——戦前期日本の「映画を読む／書く」という経験』青弓社, 2020.

【日本語論文】

近藤和都「レンタルビデオ店のアーカイブ論的分析に向けて——初期店舗の生成過程とその条件」『大東文化大学社会学研究所紀要』(1), pp.31-45, 2020.

【分担執筆】

近藤和都「アニメブームのインフラストラクチャー——『機動戦士ガンダム』をめぐる放送格差と雑誌読者」永田大輔・松永伸太郎編『アニメの社会学——アニメファンとアニメ制作者たちの文化産業論』ナカニシヤ出版, pp.189-203, 2020.

大塚英志/アルバロ・エルナンデス/近藤和都「プラットフォームとデバイスの時代(1980～現在)」国際日本文化研究センター大衆文化研究プロジェクト編『日本大衆文化史』

KADOKAWA, pp.322-349, 2020.

大塚英志・近藤和都「遅れてきたテレビ——群衆と動員の時代：後期（1950～1980）」国際日本文化研究センター大衆文化研究プロジェクト編『日本大衆文化史』KADOKAWA, pp.264-304, 2020.

近藤和都「アーカイブから老いを考える」丹羽美之編『NNNドキュメントクロニクル1970—2019』東京大学出版会, pp.207-211, 2020.

【学会・シンポジウム報告等】

近藤和都「アーカイブとしてのレンタルビデオ店——ロードサイド型大規模店舗への系譜を辿る」公開研究会ビデオの文化資源学, 主催：新潟大学地域映像アーカイブ研究センター, 共催：モノ-メディア研究会（於大東文化大学）, 2020年2月22日

周東 美材

【日本語論文】

周東美材「ザ・タイガースからみたロックのローカル化」東谷護編著『ポピュラー音楽再考——グローバルからローカルアイデンティティへ』せりか書房, pp.103-138, 2020.

周東美材「未成品としての「オペラ」——1910-20年代の宝塚少女歌劇」『大東文化大学社会学研究所紀要』創刊号, pp.17-30, 2020.

周東美材「童謡は「音楽文化」だったのか——1920年代におけるメディアの変容と消費社会」『幼児教育史学会』第15号, pp.34-49, 2020.

【学会・シンポジウム報告等】

宮野公樹・周東美材・駒井章治・磯部洋明・平岡敏洋・久木田水生・朝倉由希・中村翠・桑島修一郎・坂出健・楯谷智子・井出和希, 京都大学学際融合教育研究推進センター全分野結果型シンポジウム「学問の評価とは」（京都大学）, 2020年3月4日.

東谷護・周東美材・大山昌彦・山田晴通, シンポジウム「地方創生にみるポピュラー音楽の観光資源化に関する日米比較研究の基礎作業」（成城大学）, 2020年12月20日.

【大学入試試験問題・教材等採用】

「2020年度入学試験 国語」武庫川女子大学, 2020.

「2020年度入学試験 国語」神戸女学院大学, 2020.

『名大国語2020』代々木ゼミナール, pp.56-63, 2020.

『現代文のコア——読解のための最重要テーマとキーワード』かんき出版, pp.20-21, 2020.

『イラストとネットワーキングで覚える 現代文単語げんたん改訂版』2020.

【その他】

周東美材 「「わらべうた」から「パブリカ」まで——『赤い鳥』から始まる童謡100年の旅」
『ノジュール』Vol.163, JTBパブリッシング, pp.104-106, 2020.

塚本 正文

【論文】

塚本正文 「日本の観光税と観光行政」『大東文化大学紀要』第58巻, pp.207-222, 2020.

鶴田 隆史

【講演】

eco 検定アワード2020 「eco 検定アワード2020委員長挨拶」東京商工会議所, 20200106.

中野 紀和

【論文】

中野紀和 「『被災地』となったある集落の模索—長野県北部地震の栄村小滝の取り組みの土
台と展開—」『信濃』第72巻第1号, 信濃史学会, pp.21-38, 2020.

【著書（共著）】

中野紀和 「震災後の新たな生活空間を生きる—宮城県牡鹿郡女川町鷲神地区の獅子振り
と神社例大祭の現在」和崎春日編著『響きあうフィールド 躍動する世界』刀水書房,
pp.73-89, 2020.

中野紀和 「第12章ライフ・ストーリーと民俗学」岩本通弥編著『方法としての〈語り〉
—民俗学をこえて』ミネルヴァ書房, pp.313-331, 2020.

中野紀和 「社会変容と民俗」小川直之・新谷尚紀編『講座日本民俗学—方法と課題—』
朝倉書店, pp.138-151, 2020.

野嶋 剛

【著書】

野嶋剛 『なぜ台湾は新型コロナウイルスを防げたのか』扶桑社, 2020.

野嶋剛 『香港とは何か』ちくま書房, 2020.

【洋書(中国語, 台湾)】野嶋剛、看見不一樣の日本, 時報出版, 2020.

【翻訳】

ニクラス・ルーマン著(1984)/馬場靖雄訳『社会システム 或る普遍的理論の要綱』上下巻
勁草書房, 2020.

山口 みどり

【学会発表】

Midori Yamaguchi, 'Mission-box Politics – Manipulating Asian Women's Fascination with British Fashion',
AAS-in-ASIA Conference, Online, 2 Sept 2020.

【その他】

山口みどり「イザベラ・バードーヴィクトリア期の牧師館が生んだ発信者」『広島日英協会々
報』121, pp.5-8, 2020年.

山口みどり「書評 エリカ・ダイアン・ラパポート著、佐藤繭香・成田美美・菅靖子監訳『お買
い物は楽しむため—近現代イギリスの消費文化とジェンダー』『図書新聞』3462, p.3,
2020年9月.

山口みどり「コメント 古典を読み継ぐ:L・ダヴィドフ/C・ホール著『家族の命運』—弟子
の立場から」イギリス女性史研究会第34回大会「古典を読む会— L・ダヴィドフ、C・
ホール著、山口みどり、梅垣千尋、長谷川貴彦訳『家族の命運—イングランド中産階級の
男と女1780~1850—』名古屋大学出版会、2019年」(オンライン) 2020年12月19日.

山口みどり「特集 イギリス女性参政権実現100周年シンポジウム 女性と市民権—国策を超
えて シンポジウムの趣旨説明と概要」『女性とジェンダーの歴史』7, pp.1-4, 2020年.

	寄贈本	寄贈者
1	ニクラス・ルーマン著・馬場靖雄訳 『社会システム或る普遍的理論の要綱』（上下巻） 勁草書房 2020年	馬場靖雄
2	井島由佳 『「鬼滅の刃」流 強い自分の作り方』 アスコム 2020年	井島由佳

研究員紹介

所 長 中野紀和
部 会 長 川野幸男
専任研究員 阿部英之助 井島由佳 石川美明 植野一芳 小野田竜一 香川めい 川野幸男
上地宏一 北澤恒人 小湊浩二 近藤和都 周東美材 塚本正文
スチュワート・ロナルド・ジェフリー 鶴田佳史 中野紀和 野嶋 剛
馬場靖雄 飯塚裕介 八木原大 山口みどり

大東文化大学社会学研究所所報 No.2

2021年3月31日発行

編集発行・印刷 ©大東文化大学社会学研究所

〒175-8571 東京都板橋区高島平1-9-1

Tel:(03)5399-7394